

Viva わが街

- 2012.11.23 Friday
- 00:44



力強く「第九」を披露する長久手フィルと市民合唱団ー長久手市文化の家で

18日に長久手市制記念の第九の演奏会があり、カメラ小僧も参加。結団から関わっていたから思い入れは強く、今年はこの演奏会1本でがんばるぞってことで微力ながらちょこまか動く。指揮者・ソリスト含め、ほとんどが長久手市民なのでまさに手作り。アンコールの「ふるさと」では指揮者自身もうるうだったそう。ソロの三輪先生も「今までたくさん第九の本番を迎えたけれど、こんなに音楽を楽しそうに奏でる合唱団は初めて。」と。

ブラボーの嵐に解団式では涙ぐむメンバー多く、久々の心地いい本番だった。この「ふるさと」は、福島県相馬市の木島由美子氏が復興支援のためにオケと混声四部用にアレンジされたもの。

<http://blog.livedoor.jp/unikijima/archives/52149085.html>

小鳥の声や小川のせせらぎ、風の音を感じながら詩を味わって歌えました。ふるさとになりつつあるわが街、新たにできた仲間たちとまたの企画が楽しみです。ー

芸術の秋をお楽しみあれ♪

- 2012.11.11 Sunday
- 16:04



長久手古戦場もすっかり秋の気配です。文化的な行事が多いけれど、なかなか足を運ぶ暇がないという方へ、お勧め番組があります。日曜日夜9:00～Eテレ「[ららら♪クラシック](#)」11月4日は「モーツァルト」のレクイエム。モーツァルトの作品数の1割は教会音楽だったそうでその集大成がまさにこのレクイエムだったとか。私もこの曲は3回ほど歌ったことがあります、そのたびに鳥肌が立つくらい、好きなレクイエムです。指揮の先生のアナリ－ゼがとても興味深かったのを覚えています。バッハを尊敬していたモーツァルトは「Lacrimosa」の7小節目のベースのメロディラインにB A C H(シ、ラ、ド、シ)を密かに入れていたそう。楽譜を見ると、確かにそうそう。これを拡大するとその後の「Domine jesu」「Hostias」の音型につながるそうで楽譜を見るだけでもわくわくする彼の仕掛けです。出かけるのもいいですが、ご自宅で気楽にテレビで楽しむのもいいものです。